

わいせつ教員 心理知り 防げ

教員の児童・生徒へのわいせつ行為が後を絶たない。加害の背景には、教員側の現実とかけ離れた思い込みや、日頃のストレスもあるとされる。これまではあまり注目されてこなかった加害教員側の心理を踏まえた対策が、一部の教育委員会で始まっている。(長富由希子)

加害者「閉鎖的環境でまひ」

丸刈りの小柄な男(27)が、法廷でうつむいていた。子どもたちと毎日朝から晩まで過ごして、家と学校の往復の中でお城(お山)の大将になってしまっ

た。2018年度にわいせつ行為などで懲戒処分や訓告を受けた公立小中学校など

の教職員は文部科学省の調査で282人。被害者の半数近くが自校の児童・生徒だ。

「機会」「抵抗」の壁越すリスク大

勤務していた大阪府内の公立小学校などで、10歳未満の女児13人にわいせつ行為を繰り返したとして強引にわいせつ罪で起訴された元臨時講師だ。大阪地裁で10月、裁判官から1人の女児への犯行の認否を問われ、認めた。

静岡県警の少年警察補導員やスクールカウンセラーの経歴も持つ、奈良大の今井由樹子准教授(犯罪心理学)は「性加害はごく一部の人間だけの問題と思われがちだ。ただ、児童・生徒を性的対象にしていなかった教員も、ストレスや思い込みで加害者になるリスクはある」と話す。

と今井さんは言う。一つ目は動機の壁。ストレスや孤独感を抱えた教員が、アタルトサイト視聴などで高まった性的興奮を児童・生徒を対象に解消したくなる。二つ目は「良心の壁」。

懲戒免職になった3月、府教委の調査で動機を問われ、男はこう答えていた。「閉鎖的な環境でまひして

愛への願望」を刺激したりしてコントロールし、相手も同意したかのような状況を作る「てなすけ型」②虐待などの困難を抱えた児童・生徒を、自分の限界を見誤って1人で救おうと

「人があるや、職場で孤立させないなどの学校側の対策をまとめ、校内研修での活用を求めた。17年度からは、県内の全公立学校の教職員計約1万7千人に、わいせつ行為のリスクがないかの「自己分析支援チェックシート」を年1回受けさせている。シートは、東京と大阪、福岡

処分者4分類 ■ 年1度の自己分析

加害教員の心理を踏まえた対策も出てきた。長野県教委は昨年、児童・生徒へのわいせつで過去10年に処分した全14教職員を4分類した。①自信家の教員が、10代後半の生徒を「特別扱い」したり「恋

のめり込む「救済者願望型」③拒否しにくい10代前半までの児童・生徒らにストレス解消で一方的に欲望を押しつける「性暴力型」④盗撮型」の四つ。それぞれがあるや、職場で孤立させないなどの学校側の対策をまとめ、校内研修での活用を求めた。

を拠点に性加害者の治療をする性障害専門医療センター(SOMEC)が作成。「子どもへの性的な想像を持つていても、傷つけていないからそんなに悪いことではない」などの質問で「認知のゆがみ」をチェック。学校は結果が見えない。点数が高い教職員がSOMECに自ら相談する仕組みだ。



わいせつ行為の教職員向けチェックシート

- 生徒への性的な想像を持っていても、傷つけていないから悪いことではない
- 大人と性行為をしたいと望んでいる生徒もいる
- 生徒と恋愛関係を持った人は、実際に受けるべきより厳しい刑罰が宣告される
- 仕事で強いストレスを感じることもある
- 愛され、求められていると感じないことがある



長崎県教育委員会のチェックシートから

長崎県教委も昨年度、県内の全公立学校の教職員計約1万7千人に、わいせつ行為のリスクがないかの「自己分析支援チェックシート」を年1回受けさせている。シートは、東京と大阪、福岡

福井裕輝さんは「2教委の取り組みは実際の相談につながっている。自分でリスクに気付くことが大切だ」と話す。広島県教委も、県立高校などの教職員向けに同団体のチェックシートの導入を検討中だ。

静岡県教委と大阪府教委は今年度、県立や府立学校の生徒を対象に、教員からのわいせつ行為の経験を問うアンケートを始めた。大阪では学校を通さずに回収する工夫もしている。

文部科学省は、わいせつ行為で懲戒免職にされた教員が再び教壇に立たないよう、採用選考時の履歴書に懲戒処分歴を書かせたり、改名の有無を大学の卒業証明書で確認したりする対策を例示し、都道府県教委に通知している。

「ワケ」
応仁の乱

室町時代の乱で京都は戦いの舞台になり、中止せざるを得なかった。コレラがはやってきた時には、秋に延期して実施したこともあったよ。

3863